

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 脇之島公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 脇之島公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:33.2% 平均値比 85%=33.2%÷39.0%) 研修室1:22.5% 平均値比 86%=22.5%÷26.3%) 研修室2:21.6% (平均値比 78%=21.6%÷27.7%) 和室1:16.3% (平均値比 93%=16.3%÷17.5%) 和室2:18.1% (平均値比 78%=18.1%÷23.3%) 料理実習室:5.6% (平均値比 56%=5.6%÷10.0%)	4点				
				平均値比(81%)=利用率(19.5%)÷24.0%(上記①適用)									
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:10,287人 (平均値比 72%=10,287人÷14,272人) 研修室1:2,838人 (平均値比 63%=2,838人÷4,532人) 研修室2:1,870人 (平均値比 43%=1,870人÷4,310人) 和室1:1,195人 (平均値比 49%=1,195人÷2,448人) 和室2:1,266人 (平均値比 45%=1,266人÷2,811人) 料理実習室:312人 (平均値比 30%=312人÷1,034人)	4点				
				平均値比(60%)=利用人数(延べ17,768人)÷29405人(上記①適用)									
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P164～166 ①公民館まつり・マイタウンフェスティバル2021(展示255人・ステージ104人) ②地域意識醸成事業「ほわいとカレッジ」 (1)折紙教室(初級8回92人、ランクアップ6回47人、上級6回58人)(2)福祉講演会(79人)(4)みんなで楽しいウォーキング(33人)(5)わらべあそび(174人) ③親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業 (1)星空観望会&クラリネットミニコンサート(46人)(2)親子で学ぶ焼き物&夏の工作(7名)(3)いまだき・・・おしゃれしましよ!(15人)(4)家族の日(4人)(5)あそびの広場(2回66人)(6)たごづくり教室(18人)(7)公民館へ行こう!(33人) ④保健センター共催事業 (1)健康サロンわきのしま(12回490人)(2)筋力アップ体操床Ver(13回526人)	仕様書以上 13点	①コロナ禍、地域課題に特化した事業、学校・地域機関との連携事業、小中学校ボランティアの協力を得て開催する事業など、タイミングを見計らい安全確保をしながら開催することができた。 ②令和2年度のコロナ禍の経験を活かした規模縮小での開催や、自粛で外出の機会が少ない夏休みの親子のための事業、自宅でできる健康づくりなど、無理なく安全な事業を実施。 ③脇之島・養正・市之倉・笠原体育館4館合同の卓球交流会は、他地域との交流が非日常を感じられ、参加者に満足感をもたらす有意義な取組み。 ④学校との連携事業として対応した脇之島小3年児童の校外学習での来館は、隣接する児童センター同様に公民館にも関心を持ってもらうための良い機会であった。	13点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P167～171 ①トータル健康サポート (1)介護予防脳トレ教室(8回114人) (2)スマイルシェイプアップ(28回623人) (3)バランスボールde心と体のメンテナンス(13回243人)ほか4事業614人 ②その他の文化事業 (1)新講座・・・オリジナルPotmatを作ろう!、基本の味噌講座ほか4事業114人 (2)地域機関共催・・・交通安全講座(13人) (3)その他・・・脇みち百人一首、愛唱歌を歌おう! など9事業946人 ③コンサート・・・青春のフォーク&ポップスコンサート(43人) ④わきのしまギャラリー(18展示9,414人)	期待以上 13点	①自宅でもできる「味噌づくり」「Potmatづくり」、「吹矢講座」、「交通安全講座」、「子ども向けアクセサリ作り」など新規講座に取り組み、利用者の増加が図られた。 ②「介護予防脳トレ教室」は高齢化という地域課題に正面から向き合った講座であり、参加者が新たな生きがいを見つけるきっかけとなるなど、少しずつでも効果がみられている。 ③「吹矢講座」と「バランスボール講座」から、それぞれ新たなサークルが誕生。サークルへの移行は、担当職員の受講者一人ひとりへの気配り、声掛けによるものとして評価。	13点				
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P172 ①地域とともにまち全体の美化活動に積極的に取り組んだ。 ②全館清掃では高所の清掃を実施。基本的感染対策として一日3回の消毒作業を徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点				
			②保守・点検			年次報告書P172 ①建築基準法に基づく定期検査を実施。法定点検(主に業務委託)、自主点検で安全な利用を確保。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			③保安・警備			年次報告書P172 ①開館時間における日常的な保安警備、機械警備による施設管理を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			④小規模修繕			年次報告書P173 ①有償修繕 全15件 総額482,317円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P173 ①公共施設点検マニュアルに基づき年2回の定期点検、毎月の日常点検を実施。 ②朝夕の巡回、清掃職員や利用者の気づき等での報告を受け全職員に周知。 ③台風などの自然災害発生時は速やかに被害状況を把握。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P174 ①市ファイリングシステムに準じて適正に保管。秘匿性の高い文書は施錠できるキャビネットに保管。 ②職員周知文書は項目ごとに掲示し、もれなく伝達できるよう徹底。 ③講座申込書や他施設の利用申請書等は、職員誰もがすぐに対応できるよう分かり易く保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P174 ①ペーパーレス化を意識し、データで管理できるものは印刷を抑えた。 ②市施策「ゴーヤの緑のカーテン」作りに参画し、地域へ啓発。 ③空調の適正温度の設定について利用者に協力を依頼。 ④利用のない時間帯の節電。外灯の自動点灯時刻を季節に合わせて調整。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P174 ①車いすでの来館で窓口が混雑しないよう広い窓口を職員の手で実現。 ②安心して車いすが利用できるよう車輪や手が触れる箇所の消毒を実施。特に2階利用時は、手すりなど念入りな清掃を実施。 ③耳の遠い高齢者には事務所を出て寄り添い対話に心がけ、図書やチラシを探す来館者にはそっと声掛けするなど「心のバリアフリー」に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P174 ①腐食や危険箇所を確認し、必要に応じて廃棄や更新。備品台帳に基づき適正管理。 ②利用団体の備品は預かり書とともに鍵付きの場所に責任をもって保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P174 ①個人情報が掲載された書類、データは施錠できるキャビネットで保管。 ②個人情報の取得、管理は必要最小限にとどめている。 ③広報などへの掲載記事や写真は事前に確認の上使用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P175 ①卓球講座で受講者が手首を負傷。職員が状況を確認し医療機関への受診を促すなど適切に対応。骨折により3ヶ月の通院。 ※公民館補償制度の保険を適応		事故なし・対応に不備なし 0点
			3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,470,837円÷支出21,736,709円＝99%	100%未満 3点	【参考】令和元年105%、令和2年度96%
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P176 ①手狭だった受付窓口を職員の手で広い設えの窓口のリニューアル。 ②経年劣化の目立つサロンと図書室の机などを更新。 ③公民館だよりや窓口の意見箱を活用し意見聴取に努め、課題認識に繋げた。 (1)劣化で履きづらかった2階ホールのスリッパを更新。 (2)利用案内板を更新。時系列で利用団体を示し、スムーズな部屋の入替に対応。 (3)図書コーナーは子どもからの本のリクエストに応えるとともに、子どもが借りやすいレイアウトに改善。 (4)単発で楽しめる講座の要望に応え、定員を大幅に超える受講申込を得た。 (5)会員数減少に悩む利用団体について、公民館だよりや掲示を工夫して会員増に寄与。継続可能となったサークル2件。 (6)慢性的な駐車場不足で事業に影響が出ている。利用者への理解を求めている。	期待以上 9点	①窓口の設えや図書コーナーのレイアウトの改善、備品の更新などは利用者目線での施設管理に努めている。 ②小さなニーズから講座の企画に対するニーズまで利用者の声は様々ながら、一つひとつを課題ととらえ、その解決に向けて取り組まれている。特に会員の減少は団体の問題であるが、施設利用減退の問題でもあるため、今後の取組みにも期待。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告書P176 ①コロナ禍で窓を開放して実施したフォークソングコンサートで、近隣住民から「音響がうるさい」との苦情。即刻丁寧に詫言入り、翌日、お詫びの文書を地域に回覧。その後、同様の事業にあたっては、開催周知の回覧などで対応。	適正(普通) 4点	①企画自体は成功裡に終了しているが、団地の中の施設であり、換気しつつコンサートを行うことの難しさもある。苦情に対する対応は適切であり、今後の対策も考えられている。		4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P177～178 ①施設運営 (1)地域の活動拠点にふさわしい職員の資質の向上、安心できる環境・施設づくり。 (2)地域機関との連携による防災・防犯への意識向上を図る。 (3)施設の適切な維持管理、計画的な修繕等の実施、省エネによる環境保全。 (4)職員が知識と対応力を養い、ニーズの把握に努め、一層活力ある施設を目指す。 ②事業実施 (1)地域の少子高齢化問題の解決に向けて地域機関と連携して取り組む。 (2)小・中学校との連携を図り、ふるさとを大切にすることの育成に寄与。 (3)分け隔てなく誰もが参加できる事業に取り組み、仲間・生きがいづくりに繋げる。 (4)地域サポーター、中学生ボランティアや小学生スタッフの事業参加を促し、それぞれの役割を果たす学びと地域交流の場を提供。 (5)有意義な講座の開催と継続に努め、定期利用団体を増加、活性化を図る。	期待以上 14点	①職員の経験を生かした窓口応対への意識が高く、窓口の設えの改善やホール用スリッパの更新は目に見える環境づくり、施設づくり。 ②地域の中での施設の在り方が明確。地域の課題＝公民館の課題という姿勢で事業運営に取り組まれている。 ③小中学校をはじめ公民館活性化委員会、青少年まちづくり市民会議等との連携により、様々な場面で子どもの活躍の場を設定し、事業を展開が図られている。 ④令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし		0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計84点	良好
全体的な評価 ①ホールが2階にあり、アプローチは階段しかないため、高齢者等が利用しづらい課題がある。その分、職員の利用者への配慮、介助が求められており、誠意をもった対応に努められている。 ②地域柄、住民のまとまりが強く、各種団体とも良い連携が保たれている。地域の課題を施設自らの課題ととらえて、地域が一丸となって事業を行っている様子がうかがえる。										